施設基準等と掲示事項

令和7年6月1日現在

入院基本料について

当院の一般病棟では(日勤、夜勤あわせて)入院患者10人に対して1人以上の看護師を配置しております。(看護職員1人あたりの受け持ち数につきましては各病棟に詳細を掲示しておりますのでご参照下さい。)また、入院患者25人に対して1人以上の看護補助者を配置しております。

入院時食事療養費について

当院は、入院時食事療養費(I)を算定すべき食事療養の基準に係る届出を行っており、入院時食事療養費に関する特別管理により食事の提供を行っており、療養のための食事は管理栄養士の管理の下に適時(朝食:午前8時、昼食:午後0時、夕食:午後6時)適温にて提供しております。

入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制について

当院では、入院の際に医師を始めとする関係職員が共同して、患者さまに関する診療計画を策定し、7日以内に文書によりお渡ししています。また、厚生労働大臣が定める院内感染防止対策、医療安全体制の基準を満たしております。

DPC対象病院について

当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせる「DPC対象病院」となっております。

医療機関別係数 1.3334

(基礎係数 1.0451+機能評価係数 I 0.2263+機能評価係数 II 0.0535+救急補正係数 0.0085)

明細書発行の体制について

医療の透明化や患者さまへの情報提供を推進していく観点から、領収書の発行の際に個別の診療情報の算定項目が分かる明細書を無料で発行しております。窓口負担のない患者さまにも申出により明細書を発行します。明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されております。明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にご申し出下さい。

保険外負担に関する事項

当院では、個室使用料 5,500円・3,300円、各種日常生活品、各種診断書につきまして、その利用日数、使用量、利用回数に応じた実費のご負担をお願いしております。(詳細は別紙料金表)

後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用促進について

当院では、国の方針に従い後発医薬品(ジェネリック医薬品)の使用を積極的に行っています。また、使用に当たっては後発医薬品の品質・安全性、安定供給等の情報を収集・評価し、採用決定する体制を整えています。

一般名処方について

当院では、後発医薬品のある医薬品について、特定の医薬品名を指定するのではなく、薬剤の成分をもとにした一般名処方(一般的な名称により処方せんを発行すること)を行う場合があります。一般名処方によって特定の医薬品の供給が不足した場合であっても、患者さんに必要な医薬品が提供しやすくなります。

長期処方について

当院では、患者さまの状態に応じ、28日以上の長期の処方を行うことが可能です。
長期処方が対応可能な場合は病状に応じて担当医が判断致します。

透析患者様の下肢抹消動脈疾患に対する取り組みについて

当院では、慢性維持透析を行っている患者様に対し、下肢抹消動脈疾患に関する検査を行っております。検査の結果、専門的な治療が必要と判断した場合は、その旨をご説明し同意をいただいた上で、連携医療機関へ紹介させていただいております。

下肢抹消動脈疾患に関する連携医療機関：社会医療法人社団カレスサッポロ 時計台記念病院

マイナ保険証のご利用について

当院では、オンライン請求及びオンライン資格確認を行う体制を有し、薬剤情報・特定検診情報その他必要な情報を取得・活用して診療を行います。診療情報取得・活用することにより、質の高い医療の提供に努めています。

医療DX推進について

当院では、医療DXを推進して質の高い医療を提供できるように体制整備を行っております。

- ① オンライン資格確認等システムによる取得した医療情報等を活用して診療を実施しております。
- ② マイナ保険証利用を促進するなど、医療DXを通じて質の高い医療を提供できるよう取り組んでおります。
- ③ 電子処方箋の取組を実施してまいります。(今後導入予定です。)
- ④ 電子カルテ情報共有サービスの取組を実施してまいります。(今後導入予定です。)

特別療養費等について

当院は、下記の個室等の利用を希望される方は、別途室料が必要となります。

個室	2階	(202A号室、202B号室	バス・トイレ付)	1日	5,500円
個室	3階	(305号室	バス・トイレ付)	1日	5,500円
個室	3階	(305号室	シャワーのみ)	1日	3,300円

北海道厚生局への届出事項について

当院は、次の施設基準に適合している旨、北海道厚生局へ届出を行っております。

1. 基本診療料の施設基準等に係る届出

急性期一般入院料 3
診療録管理体制加算 2
医師事務作業補助体制加算 2 20 対 1
急性期看護補助体制加算 25 対 1 (看護補助者 5 割以上)
夜間 50 対 1 急性期看護補助体制加算
夜間看護体制加算
看護補助体制充実加算 1
重症者等療養環境特別加算
医療安全対策加算 2
医療安全対策地域連携加算 2
感染対策向上加算 2
連携強化加算
サーベイランス強化加算
患者サポート体制充実加算
後発医薬品使用体制加算 1
病棟薬剤業務実施加算 1
データ提出加算 2
情報通信機器を用いた診療
医療 D X 推進体制整備加算

2. 特掲診療料の施設基準等に係る届出

夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる救急搬送看護体制加算
ニコチン依存症管理料
薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1
持続血糖測定器加算、皮下連続式グルコース測定
検体検査管理加算 (Ⅱ)
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
時間内歩行試験、シャトルウォーキングテスト
C T 撮影及び M R I 撮影
無菌製剤処理料
心大血管疾患リハビリテーション料 (Ⅰ)
人工腎臓 (慢性維持透析を行った場合 1)
導入期加算 1
透析液水質確保加算、慢性維持透析濾過加算
下肢抹消動脈疾患指導管理加算
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
大動脈バルーンポンピング法 (I A B P 法)
経皮的下肢動脈形成術
外来・在宅ベースアップ評価料 (1)
入院ベースアップ評価料 7 4
禁煙治療補助システム指導管理加算
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に規定する遠隔モニタリング加算

感染防止対策のお知らせ

当院では、患者さまやご面会の皆さまに安心して療養・来院していただくために、以下のような感染防止に関する取組みを行っております。

1. 院内感染防止対策委員会を設置し、毎月1回会議を行い、感染対策に関する事項を検討します。
2. 感染対策チーム（ICT）を設置し、感染防止対策の実務を行います。
3. 職員の感染防止対策に対する意識・知識・技術向上を図るため、マニュアルを各部署に配備し、全職員対象とした研修会・講習会を年2回以上行っています。
4. 薬剤耐性菌や院内感染対策上問題となる微生物の検出状況を報告し注意喚起を行います。
5. 院内感染が疑われる事例の発生時には、感染対策の徹底、疫学的調査を行い感染拡大の防止を行います。また、必要に応じて他の医療機関や保健所と速やかに連携し対応します。
6. 地域の医療機関と連携し、各施設の感染対策に関する問題点を定期的に検討しています。
7. 感染症が流行する時期は、ポスター等の掲示物で情報提供を行います。

医療安全対策のお知らせ

当院では、医療安全対策を病院全体として取り組み、医療事故発生の防止と発生時の速やかな対応を行っております。また、以下の取り組みを実施しています。

1. 医療安全対策委員会を設置し、毎月1回会議を行い、安全対策に関する事項を検討します。
2. 職員の医療事故防止対策に対する意識・知識・技術向上を図るため、マニュアルを各部署に配布し、全職員対象とした研修会・講習会を年2回以上行っています。
3. 医療の質を低下させず出来る限り最良の医療を行うためにも医療事故を未然に防ぐことを目標とし、人間は過ちを犯すものという立場に立ち組織の問題としてとらえ、医療事故が発生しないような環境・システムの構築を組織全体で目指します。
4. 医療事故発生時の早期対応、原因調査及び再発防止のための対策を立案します。
5. 医療ミスが疑われる事例の発生時には、安全対策の徹底、事故調査を行い、医療事故防止に努めます。また、必要に応じて他の医療機関や保健所と速やかに連携し対応します。
6. 医療安全に関するご相談は、医療安全管理者が関係部署と連携・協力しております。窓口又は安全管理担当者にお気軽にお申し出下さい。